

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 	
	学期	学期
前 期	<p>学習内容・到達目標</p> <p>1 はっきりとした声で読もう／かくれんぼ ・はっきりとした声で、意味のまとまりを正しくとらえながら読む。</p> <p>としよかんへいこう ・配架やマナーなど、図書館の基本的な利用の仕方を知る。</p> <p>「お話カード」を書く ・読んだ本について、簡単な感想を書く。</p> <p>かたかなで書くことば／かん字のれんしゅう ・片仮名で書く言葉について知り、正しく使う。</p> <p>2 書いてあることを正しく読もう／たんぼぼ ・説明の順序やだいたい言葉に気をつけて読む。</p> <p>ことばで絵をつたえよう ・だいたいなことを落とさずに順序よく説明する。</p> <p>よく見て書こう ・観察して、気づいたことを詳しく書く。</p> <p>かん字の書き方に気をつけよう／かん字のれんしゅう ・漢字の筆順と画数について理解する。</p>	<p>学習内容・到達目標</p> <p>言いつたえられているお話をしよう ・神話や伝承のお話を聞いたり、自分で読んだりし、おもしろかったところを友達と発表し合う。</p> <p>1 人物のようすや気持ちに気をつけて読もう／名前を見てちょうだい ・場面に気をつけて、人物の様子や気持ちを読み取る。</p> <p>絵を見てお話をしよう ・絵から想像を広げて、お話を書く。</p> <p>声に出してみよう／かん字のれんしゅう ・音節と文字との関係や、アクセントによる言葉の違いについて理解する。</p> <p>2 どうぶつのはなみやみんでさくろう／ピーパーの大作 ・だいたいな言葉を探しながら、どこに何が書いてあるかを読み取る。 ・順序に気をつけて、ピーパーの大作の様子を読み取る。</p> <p>聞き合おう、みんなのたからもの／かん字のれんしゅう ・宝物について紹介し合い、感想や知りたいことなどを話し合う。 ・知りたいことを尋ねる。</p>
	<p>3 ばめんに気をつけて読もう／お手紙 ・場面ごとに人物のしたことや気持ちに気をつけて、物語を読む。</p> <p>まよい犬をさがせ ・必要なことを落とさないように聞いて、メモを取る。</p> <p>組みあわせたことばをつかおう／かん字のれんしゅう ・複合動詞の構成や意味を理解し、言葉への関心を深める。</p> <p>4 せつめいの文をくらべて読もう／ふるしきは、どんなぬの ・二つの説明の文章を比べて、違いを考える。</p> <p>できるようになったよ ・生活の中で経験した出来事を伝える文章を、順序に気をつけて書く。</p> <p>なかまになることばをあつめよう ・仲間になる言葉に関心をもち、言葉を集めたり分類したりする。</p> <p>本は友だち ・読書の楽しさを理解し、自分の興味に合わせて本を選んで読</p> <p>しを読もう／いろいろなおとのあめ／空にぐんと手をのぼせ ・詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。</p> <p>かんじたことを ・感じたことや思ったことを詩に書く。</p> <p>話したいな、とくいなこと ・伝えたいことが聞く人によく伝わるように、順序よく話す。 ・友達の話に興味を持って聞く。</p> <p>「ありがとう」をつたえよう ・伝えたいことを簡単な手紙に書く。</p>	<p>3 じゅんじよをかながえてせつ明しよう／二年一組、はつ明むしよ ・身近な道具や自分の発明品について書くことを整理し、順序を考えて書く。</p> <p>主語とじゅつ語に気をつけよう／かん字のれんしゅう ・主語と述語の働きを理解し、主語と述語の照応した正しい文を書く。</p> <p>4 むかし話を楽しく読もう／かさこじぞう ・おもしろさを見つけながら、いろいろな昔話を読む。</p> <p>おぼあちゃんに聞いたよ ・昔から伝わるいろいろな言い方について知り、声に出して読む。</p> <p>考えたわけを書こう／かん字のれんしゅう ・絵を見て、考えたこととその理由を書く。</p> <p>5 分かりやすくせつ明しよう／「おもちゃまつり」へようこそ ・聞く人によく分かるように、おもちゃの作り方や遊び方を順序よく説明する。</p> <p>おくりがなに気をつけよう ・送り仮名について理解し、送り仮名に注意しながら漢字の読み書きをする。</p> <p>6 虫について知ったことをもとに考えよう／虫は道具をもっている ・人間と虫の似ているところと違うところに気をつけて読む。</p> <p>「思い出ブック」を作ろう ・これまで書いた文章や詩を読み返す。 ・1年間の思い出を文章に書く。</p> <p>はんたいのいみのことば／かん字のれんしゅう ・反対の意味を表す言葉に関心をもち、言葉を集めたり分類したりする。</p> <p>7 お話を紙しばいにしよう／ニャーゴ ・場面に気をつけて、読み取った人物の様子や気持ちが伝わるように紙芝居をする。</p>

国語科の評価

・国語科では五つの観点で評価します。

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
国語に対する関心もち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。	相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。	経験した事や想像したことなどについて、順序がわかるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。	書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。

・次のような方法で見えていきます。

行動観察 取り組み様子 作品 音読 テスト 調べ学習の内容 感想文 評価カード 発表内容 振り返りカード ノート 紹介文 プリント

おうちの方へ

音読練習、漢字練習、視写、ワークシート、話す・聞く場の設定、読書活動などを取り入れ、基礎的な力を育成し、興味関心を高めていきます。音読は学習の基本なので、意欲的に継続できるよう励ましの言葉かけなど、家庭での協力をお願いします。